

【平成 30 年 7 月】

## 地域を支える仕組みづくり

### 池月地区では民生委員とさまざまな専門職が集まり勉強会が開催されました

平成 30 年 7 月 6 日（金曜日）午後 1 時から岩出山地域にある池月サポートセンターにて、池月地区の民生委員主催でさまざまな専門職を招き、地域の課題解決のための勉強会が開催されました。

今回の勉強会は、池月地区の地域支援コーディネーターと民生委員が協力して開催したもので、民生委員が日頃相談を受ける内容を 1 つずつ解決していこうと企画されたものでした。

「薬の受け取りができない人への対応」「認知症かもしれないと思った人への対応」等を民生委員と専門職が話し合い、薬剤師が自宅へ訪問して薬を届けることができる仕組みや地域包括支援センターが認知症と思われる人を訪問できる仕組みについて知り、地域の困りごと解決に向けてさらに一歩前進しました。

参加者：池月地区民生委員、地域支援コーディネーター、大崎薬剤師会、クオール薬局、中川薬局、セントケア訪問看護ステーション岩出山、大崎市在宅医療・介護連携支援センター、玉造地域包括支援センター、岩出山総合支所市民福祉課、民生部社会福祉課地域包括ケア推進室



### 大崎市内の地域支援コーディネーターが集まり、ニーズを調査するための方法を勉強しました

平成 30 年 7 月 17 日（火曜日）午後 1 時 30 分から大崎市役所西庁舎 4 階第 1 会議室にて「平成 30 年度第 3 回地域支援コーディネーター意見交換会」を開催しました。

今回は 10 人の地域支援コーディネーターと地域の課題把握と担い手の掘り起こしについて「ニーズと担い手の掘り起こしキット」を体験して、地域における活用方法を考えました。

次回は 8 月に講師を招き、地域支援コーディネーターの役割を再確認する予定です。



## 高倉フォーラム 2018 が開催され、地域のために何ができるかを話し合いました

平成 30 年 7 月 28 日（土曜日）午後 6 時 30 分から高倉地区公民館にて高倉地区振興協議会主催で「高倉フォーラム 2018」が開催されました。

当日は約 30 人の地域の方々が集まり、高倉地区振興協議会と地域計画策定員会がまとめた地域計画案を参加者にお披露目して、市民協働推進部まちづくり推進課及び民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員がサポートして参加者と一緒に地域のために何ができるかを話し合いました。

出された意見には、「ここに書かれているのは、自分が言い出したものだから協力したい。」「農家レストランに野菜を提供したい。」等、誰かに任せるのではなく自分自身が担い手となって地域に協力していきたいという意欲が見られました。

## 医療と介護の連携

### 大崎市医師会主催で介護事業所向けの医学講座が開講されました

平成 30 年 7 月 17 日（火曜日）午後 6 時から大崎市図書館にて大崎市医師会主催による「今だから学びたい介護事業所向け医学講座」が開催され、市内の介護事業所等に勤める介護職員やケアマネジャー等 65 人が受講しました。

今回の講座では、富樫クリニック院長 富樫 孝 医師を講師に、「医療的知識の必要性について」及び「高齢者の体と疾病の特徴」の講義と、市内訪問看護ステーションの訪問看護師による正しい血圧の測定方法の実技が行われました。

この講座は、高齢者等のケアを担当する介護職員を対象に、基礎的な解剖生理やケアを行う上での観察方法や健康管理のポイントを学ぶ講座で、市内の医療機関の医師や歯科医師、薬剤師、作業療法士等が講師となり、ケアの質がより向上することを目的に平成 30 年 7 月から平成 31 年 2 月にかけて毎月 1 回全 8 回シリーズで開講予定です。



### 在宅医療連絡会平成 30 年第 1 回運営会議が行われました

平成 30 年 7 月 18 日（水曜日）午後 6 時 30 分から大崎市医師会にて「在宅医療連絡会平成 30 年度第 1 回運営会議」が開催されました。在宅医療連絡会とは 24 時間 365 日対応の「一人主治医制」の負担を軽減するために「主治医・協力医制」を運営するために組織された会であり、今回は 13 人の在宅医療連絡会の医師等と 9 人の市内訪問看護ステーション管理者が参加して運営の課題や役割分担の重要性について話し合いました。